

## 人材育成ガイドブック

### 人材育成トータルソリューションプラン導入事例（H市）

#### 1. 導入の背景・課題

H市では、社会環境の変化や行政ニーズの多様化・高度化を背景に、職員一人ひとりの能力向上に加え、組織全体としての対応力の強化に向けた人材育成の重要性が一層高まっていた。こうした中、従来の人材育成の取組を踏まえつつ、より中長期的な視点に立った体系的な人材育成のあり方について検討を進める必要があった。

また、令和5年12月には総務省より「人材育成・確保基本方針策定指針」が示され、人材育成の枠組みを改めて整理する好機を迎えていた。

こうした背景を踏まえ、H市では職員アンケートにより現状の把握と課題の整理を行いながら、専門的な知見を取り入れ、人材育成の方向性を体系的に再構築することを目的として、人材育成トータルソリューションプラン（TSP）を導入した。

#### 2. 事業の概要

本事業では、令和6年度より、職員アンケートによる現状把握から始まり、専門家による分析・助言、ワークショップの実施を経て、令和7年度に人材育成基本方針の整理・改定および人材育成プログラムの構築を段階的に行った。

#### 3. 取組内容（プロセス）

##### （1）現状把握（職員アンケートの実施）

まず、職員の意識や業務に対する考え方等を把握するため、全庁的にアンケート調査を実施した。アンケートについては、一般財団法人地域活性化センターが用意した設問を活用することで、新たに設計することなく効率的に実施することができた。これにより、職員の価値観や組織風土の傾向など、人材育成に関する現状を可視化した。

##### （2）専門家による分析・助言

アンケート結果をもとに、九州大学大学院法学研究院教授 嶋田暁文氏および北海学園大学法学部講師 田井浩人氏による分析を行い、H市の人材育成における課題や改善の方向性について助言を受けた。客観的な視点からの整理により、組織として取り組むべきポイントを明確化した。

##### （3）ワークショップの実施

分析結果を踏まえ、まず嶋田氏よりアンケート結果に関する講話を行い、その内容を踏まえて職員参加型のワークショップを実施した。職員同士の対話を通じて、人材育成に関する認識の共有や課題の深掘りを行い、今後の方向性についての理解を深めた。

#### (4) 人材育成基本方針の整理・改定

アンケート結果およびワークショップでの議論を踏まえ、嶋田氏からの助言を受けながら、H市における人材育成の基本的な考え方や目指す職員像を整理し、人材育成基本方針の見直し・改定を行った。

#### (5) 人材育成プログラムの構築・実施

改定した人材育成基本方針に基づき、具体的な人材育成プログラムの検討を行い、まずは一部のプログラムを実施した。今後は、当該方針に基づき、継続的に人材育成プログラムを展開していくこととしている。

### 4. 担当者所感

本事業を通じて、職員アンケートによる現状把握から専門家による分析、ワークショップの実施までを一体的に進めることで、H市における人材育成の課題や方向性を体系的に整理することができた。

特に、アンケート結果を踏まえた専門家からの助言や講話、ワークショップでの職員同士の対話を通じて、これまで漠然としていた課題が明確になるとともに、人材育成に対する認識の共有が図られたことは大きな成果であったと感じている。

また、人材育成基本方針の見直しにより、組織として目指す人材像や育成の方向性を改めて整理することができ、今後の取組の基盤を整えることができた。

今後は、本事業で整理した方針に基づき、人材育成プログラムの充実を図るとともに、継続的な取組として人材育成を推進していく。